

# その他報告事項

---

- ①\_山崎橋の危険度レベル表示について
- ②\_鶴田ダムインフラツーリズムの取組み

# ①\_山崎橋の危険度レベル表示について

---

# 山崎橋橋脚への危険度レベル表示設置 <川内川河川事務所>

- 近年多発・激甚化する洪水に備えるため、地元（二渡地区）より洪水時の警戒・避難判断の目安となるものが必要と要望を受け、危機管理型水位計・河川カメラに加えて、R5年度中に山崎橋橋脚への危険度レベル表示を設置（施工中）。



## ○ 山崎橋橋脚への危険度レベル表示 (R5年度 施工中)



山崎橋左岸橋脚 施工中の状況(R6.2.9)

## 【参考】他箇所の事例（宮都大橋）



## ②\_鶴田ダムインフラツーリズムの取組み

---



# 鶴田ダムインフラツアーリズム

～現場に潜入、オトナの社会科見学～  
(普通の観光じゃ物足りない)

**令和5年10月より  
河川空間のオープン化指定 本格始動！**

鶴田ダム管理所、さつま町、NPOひっ翔べ！奥さつま探検隊

○令和元年 : インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト(全国7箇所)に選定

○令和2年 : 「鶴田ダムインフラツアー」を実施(20名参加)

～コロナ禍で活動を中断～

○令和4年11月 : 大鶴湖インフラツーリズム関係者会議を設置

○令和5年 4月 : ダム見学の有料化を試行(さつま町 ゆうゆう館事業にて)  
(平日及び第2、4日曜日受付、 500円/1名)

○令和5年 10月 : 鶴田ダム 河川空間のオープン化(営利活動の許可)  
(さつま町 申請 → 九州地方整備局 許可)

○令和5年11月26日 : 秋の大鶴湖祭り 開催  
(ダム点検放流、遊覧船他)



## 令和元年度選定

なるこ  
①鳴子ダム  
【宮城県大崎市】



あまがせ  
③天ヶ瀬ダム  
【京都府宇治市】



くるしま  
④来島海峡大橋  
【愛媛県今治市】



やんば  
②ハツ場ダム  
【群馬県吾妻郡長野原町】



つるた  
⑤鶴田ダム  
【鹿児島県薩摩郡さつま町】



## 令和2年度選定

はくちょう  
⑥白鳥大橋  
【北海道室蘭市】

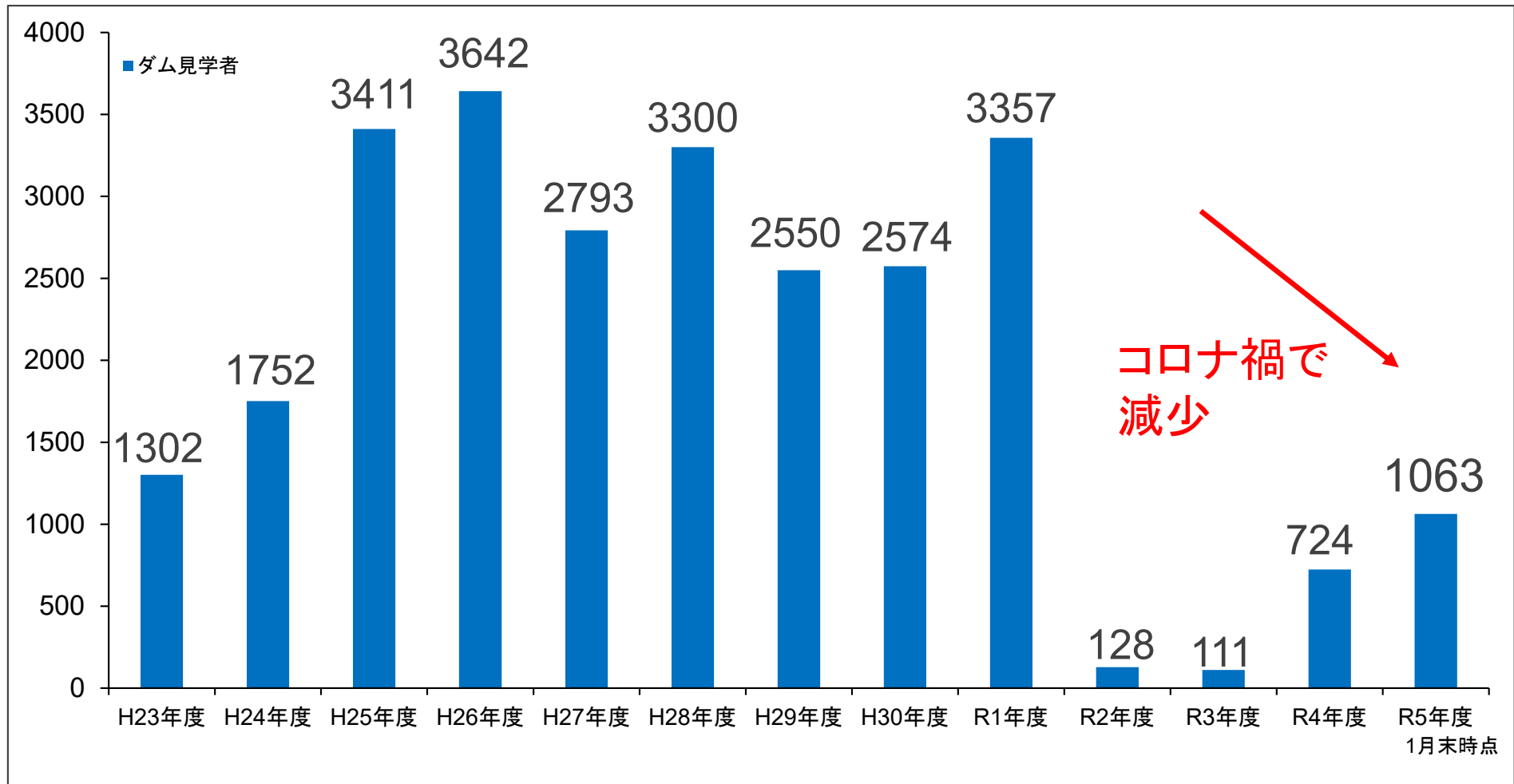


くさかがわ  
⑦日下川新規放水路  
【高知県高岡郡日高村】



# 多くの見学者が訪れる鶴田ダム

○鶴田ダムは昭和42年の完成以来、鹿児島県の社会科見学のメッカ。



○平日のダム見学はこれまで充実した活動を実施。

※職員が平日に対応。

※あくまでも土木広報。発展性が限られている。

○これまでの、インフラツーリズムの企画も単発イベントであり、持続的な取り組みになっていない。

○国、市町、民間での持続可能な体制づくりが必要。

○来訪者の多い休日の受け入れ体制づくりが急務。

(有料化、案内ガイド体制、安全管理)

○本来のインフラツーリズムの目標である、旅行商品ツアーの売り込みなど将来の大きな目標を持つ一方で、現場のプレイヤーの実力にあった段階的な目先の目標づくりが必要。

※最初から大風呂敷の目標をかかげると続かない。失敗の元凶。

# 当面の活動方針（案）

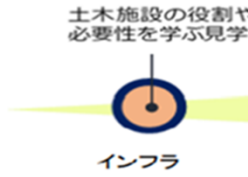
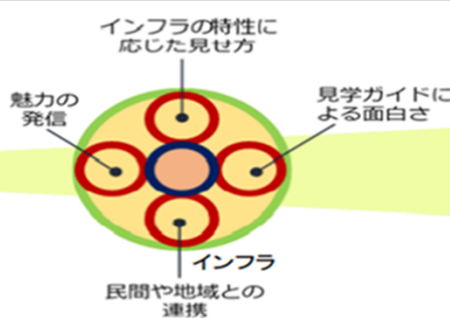
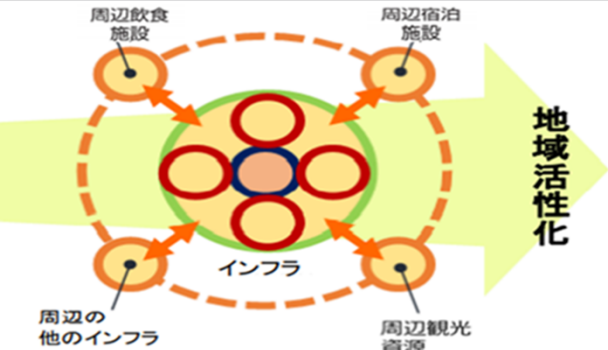
○鶴田ダムのセールスポイントは、九州の最大級のダムであり、普段は入れない視点場での大迫力の体感、堤体内の神秘性及び治水・発電及び日本最大規模のダム再開発事業（土木技術）の学習体験などがあげられるため、**ダム見学メニューの充実**を図る。

○永続的な地域と連携した観光地域づくりに向けて、ダム見学について、休日における運営体制の確立、民間ガイド体制の構築、継続的な運営ができるよう**ダム見学の有料化、都市地域再生利用区域の設定（河川空間のオープン化）**をインフラツーリズムの一丁目一番地として進める。 ※スモールスタート

○個人客が多いという昨今の観光ニーズに対応するため、**各観光素材（ダム見学）の単品売りを基本**とし、曾木の滝、北薩公園等の鶴田ダム周辺観光地とは、モデルコースとしてゆるやかな連携を行う。

○地域固有のホタル舟（5月下旬）、遊覧船（11月頃）、点検放流（11月頃）等の特別なイベント時には、鶴田ダム見学とコラボし宣伝を拡大する。**特に遊覧船の運営について次の目玉**として具現化を進める。

その他、**へらぶな岬公園**をキャンプ場（静かな湖畔、美しい星空）として整備・活用し、相乗効果を図る。

土木広報 ～インフラツーリズムの基礎～	土木広報＋付加価値 ～魅力ある観光資源へ～	(土木広報＋付加価値) × 周辺観光資源 ～地域と連携した観光地域づくり～
 <p>土木施設の役割や 必要性を学ぶ見学</p> <p>インフラ</p>	 <p>インフラの特性に 応じた見せ方</p> <p>魅力の 発信</p> <p>見学ガイドに よる面白さ</p> <p>インフラ</p> <p>民間や地域との 連携</p>	 <p>周辺飲食 施設</p> <p>周辺宿泊 施設</p> <p>周辺の 他のインフラ</p> <p>インフラ</p> <p>周辺観光 資源</p> <p>地域 活性化</p>
土木広報としてインフラの見学会を実施している段階	インフラの見学会を磨き上げ、より広範囲から人を呼び込む段階	インフラと地域との連携により、周辺観光資源等にも立ち寄り、より一層地域活性化が図れる段階
施設管理者が実施主体		地域と連携した組織・民間事業者等が実施主体

今ココ



(○分、○km)  
※鶴田ダムまでの車時間、距離







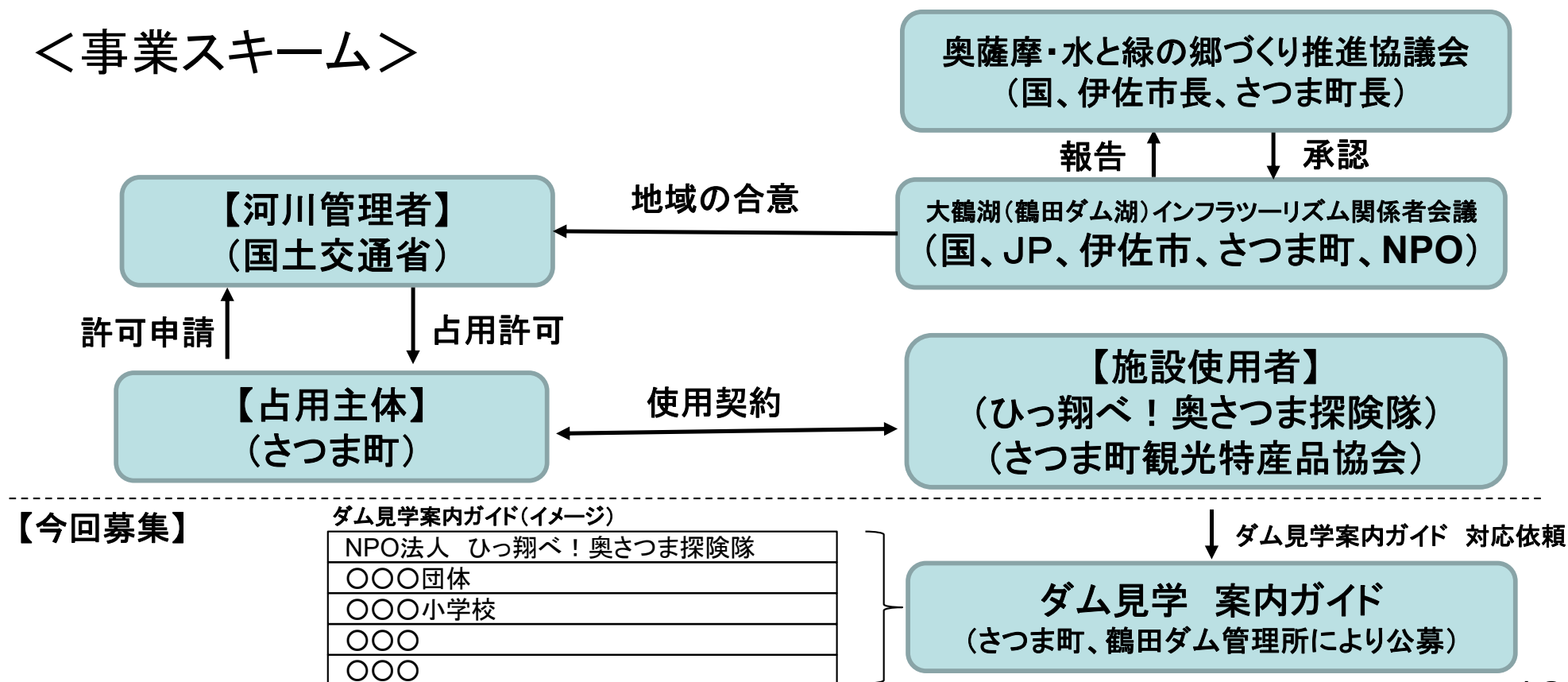
河川敷地の占用は、原則として公的主体（地方公共団体等）に限られており、営業活動を行うことはできません。

しかし「河川空間を積極的に活用したい」という要望の高まりを受け、平成23年に河川敷地占用許可準則（以下、「準則」という。）を改正し、一定の要件を満たす場合には、特例として民間事業者等も営業活動を行うことができるようになりました。これを「河川空間のオープン化」といいます。

（全国108か所、九州7か所、鹿児島県内0か所 R4.3. 31現在）

今回の指定は鹿児島県ではじめて、ダム見学（河川管理施設の見学）は九州ではじめてです。

## <事業スキーム>





# 河川空間のオープン化 事例





# 川内川大鶴ゆうゆう館（管理者：さつま町）

（指定管理者 NPO法人 ひっ翔べ！ 奥さつま探険隊（河川協力団体））









# 見どころ① 社会科の学習（治水、発電、土木技術）

～日本最大規模のダム再開発事業を学習～





## 見どころ② 九州最大級のダム 大迫力を直下で体感





# ダム点検放流 イベントツアー実施（令和2年11月）





# 見どころ③ ダム内部に潜入 神秘的な空間を満喫





# 見どころ④ ゆうゆう館でまったりダムカレーを堪能





## 見どころ⑤ ダム内部に自分の焼酎を貯蔵（有料）





# みどころ⑥ 曾木発電所遺構 遊覧船見学





- 1) 実施主体 : さつま町「川内川大鶴ゆうゆう館」の管理事業にて実施  
指定管理者: NPO法人 ひっ翔べ！奥さつま探険隊 ※サポート: 鶴田ダム管理所
  
- 2) 見学日時 : 平日及び第2、第4日曜日  
・午前: 11:00～12:00  
・午後: 14:00～15:00 ※約1時間
  
- 3) 予約 : NPO法人 ひっ翔べ！奥さつま探険隊ホームページより予約  
※希望日の最低2週間前までに予約  
  
[https://www.qsr.mlit.go.jp/turuta/go/kengaku\\_annai\\_new.html](https://www.qsr.mlit.go.jp/turuta/go/kengaku_annai_new.html)
  
- 4) 集合場所 : 鹿児島県薩摩郡さつま町神子3988-2 川内川大鶴ゆうゆう館前
  
- 5) 料 金: 1) 見学 **1000円/1名**  
※子供(高校生以下)は無料。大人同伴が条件。  
※団体割引あり(26名以上)  
2) 学校関係の社会科見学は、これまでどおり無料。  
(平日のみ。見学時間も希望を受け付け)

鶴田ダムの目的、役割等についてダム見学者に説明をしていただく案内ガイドを募集します。  
鶴田ダムの役割等をわかりやすく説明していただく語り部となって頂き、地域全体で防災力強化を推進したいと考えています。

○業務内容：鶴田ダム見学者への案内・説明 1時間程度

※案内・説明方法をまとめたガイドブックがあります。 ※研修を受けていただきます。(半日程度)

○対応日時：平日(火曜日除く)及び第2, 4日曜日 11:00~12:00 または 14:00~15:00

※上記の時間で見学の予約が入った場合に、案内ガイドの皆様と調整を行い、都合の良い場合に依頼をします。

○ガイド料:1回あたり(準備時間含む2時間) 2400円程度

○年齢、住所は問いません。

○申し込み方法

別紙②「鶴田ダム見学 案内ガイド 申込書」に必要事項をご記入の上、以下申し込み先に郵送、又はFAXをお願いします。

○申し込み先

さつま町 商工観光PR課

○業務内容等に関する問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 鶴田ダム管理所



○11月26日(日) 秋の大鶴湖祭りを開催し、地元から好評いただきました。今後も、通常のダム見学とあわせて、秋の奥薩摩の名物行事として関係者と連携しながら、地域振興・活躍の場の創出・防災力強化を目標に継続していきます。

**つるだ 鶴田ダム**  
秋の大鶴湖まつり  
in 2023

2023.11.26(日) 9:30 ~ 15:30

河川空間のオープン化 第一弾イベント

河川空間のオープン化とは？  
河川放流の活用は、原則として公営主体に限られており、営生活動を行うことはできません。しかし、「河川空間を有効に活用したい」という要望の高まりを受け、平成23年に規制が緩和され、地域の合意を行ったうえで、民間事業者による営利活動等の利用が可能となったものです。

(開会セレモニー)

右から  
さつま町 上野町長  
電源開発㈱ 中屋所長  
鶴田ダム管理所 廣松所長  
宮之城出張所 藤野所長  
跡見学園女子大学 篠原准教授  
(インフラツーリズム有識者懇談会委員)

(鶴田ダム 放流見学)

※迫力ある放流  
見学者から大絶賛

1 ダム放流見学

河川空間のオープン化

放流を普段立ち入れないコンジット広場から見られます！

■入場料 : 500円/人 (高校生以下無料)  
■放流時間 : 1回目 10:00 ~ 10:20  
2回目 11:00 ~ 11:20  
3回目 13:00 ~ 13:20  
4回目 14:00 ~ 14:20

予約不要

2 ダム堤体内見学(+放流見学)

河川空間のオープン化

堤体内テラス(B3展望所)から「ダム放流見学」よりも放流をもっと間近に見られます！

■入場料 : 1,000円/人  
■見学時期 : 1回目 9:30 ~ 10:30  
2回目 10:30 ~ 11:30  
3回目 12:30 ~ 13:30  
4回目 13:30 ~ 14:30

要予約 (11月24日まで)

予約Webサイトはこちら

3 大鶴湖 遊覧船

大鶴湖の広い湖面でゆったり景色を楽しんで！

■乗船料 : おとな 2,000円/人  
子ども(小中学生) 1,000円/人  
※幼児無料  
■乗船時刻 : 10:00 ~ 15:00 30分毎に出航

予約不要 先着順受付

営生発電所遺構に近づける！

(ダム堤体内見学)

※他ではこの近さで見ることのできない大迫力の水量。

(大鶴湖 遊覧船)

※直接、壁を手で触れて、歴史的遺構を堪能。感動。

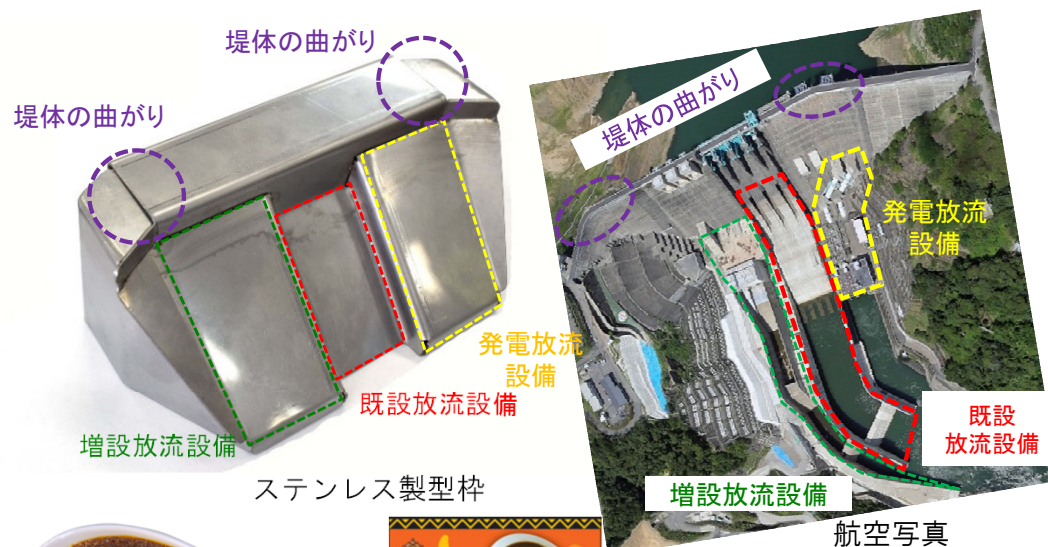
■参加者数：約400人  
■主催者：大鶴湖(鶴田ダム湖)インフラツーリズム関係者会議  
(鶴田ダム管理所、川内川河川事務所、さつま町、伊佐市、電源開発㈱)  
ひっ跳べ！奥さつま探険隊 バイオマスワークあったらし会 伊佐の風)

※本イベントは、ゲート等点検のための点検放流に合わせて行っています。



# さつま町の新たな名産「鶴田ダムカレー」誕生

- 鹿児島県には九州最大級の鶴田ダムがあるにもかかわらずダムカレーを提供しているお店がなかったことから「鶴田ダムカレー実行委員会」を設立し鶴田ダムカレープロジェクトを始動。
- 鶴田ダムをご飯で表現するために、ご飯の型枠作成に着手。試行錯誤の末、**鶴田ダムらしさを表現しつつ施工性に優れたステンレス製型枠が完成。**
- さつま町で鶴田ダムカレーが食べられる店舗は**15店舗※**。



鶴田ダムカレー  
(大鶴ゆうゆう館)



鶴田ダムカレーマップ

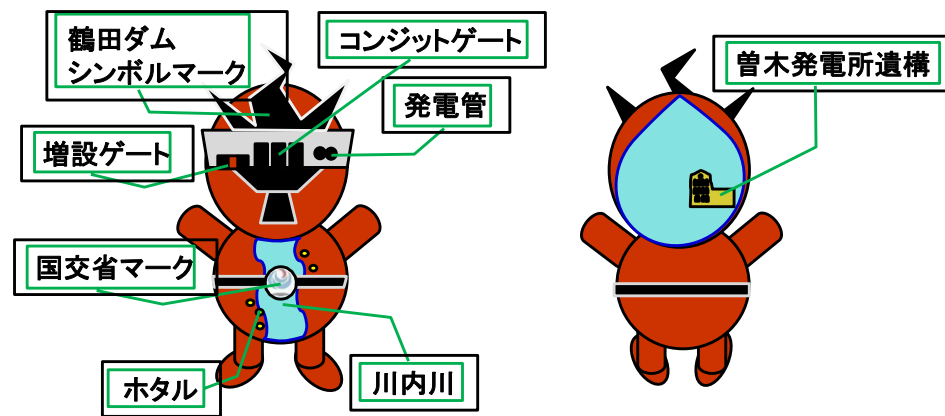
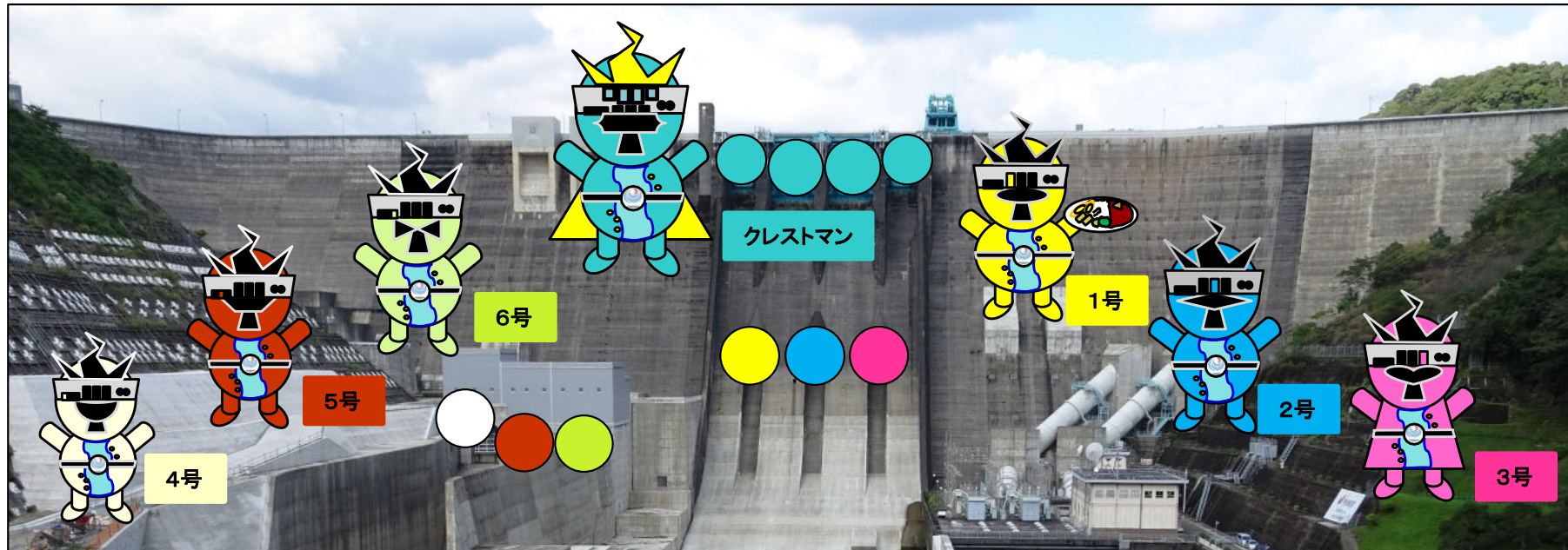


スタンプカード



# 地域を守る 鶴田ダムレンジャー！！

■鶴田ダムでは全国のダムで初めて各コンジットゲートの色を塗り分けている。（平成9年度から）  
 ■令和元年度にダムコンシェルジュ（非常勤職員）が子供にも分かりやすく興味を持ってもらえるように「鶴田ダムレンジャー」を公式キャラクターとして考案しそれぞれの色に合わせてゲートマン1号～6号、クレストマンと命名8月にDEBUT。



R1.8/28朝日新聞 掲載



R1.8/4南日本新聞 掲載



R1.6/26朝日新聞 掲載